

## 目を凝らすと素敵な野バラ

最初は花が咲くまで気がつかなかったが、サイクルコースには、いたるところに野バラがはびこっている。

そういえば、子供のころ、他の草に紛れて生えていた野バラに、手足を痛めつけられた記憶がある。そのせいか、野バラが嫌いになり、この歳までその花を冷静に見ることがなかった。

しかし、自転車を止めて花を眺めると、小さいながら美しい。花弁のカールの仕方もなかなかのもの。古来、詩歌にたびたび登場するのもむべなるかな。

「路たえて香にせまり咲くいばらかな 蕪村」

下の写真はあるとき、舗装道路にはみ出して咲いていたノイバラ。ただ、二、三年もすると衰えてしまった。移ろいやすい。

ノイバラは、「ハイブリッド・ティー」のような現代バラの台木に使われるという。ちょっとかわいそうだけど、縁の下の力持ち。





~~~~~